

ご使用上の注意事項

製品使用

- ユーザーの不意による故障及び運転中に生じる製品の損傷や破損について弊社では一切の責任を負いかねます。
- 直射日光が当たらない場所に車両を駐車してください。真夏の野外駐車や直射日光などによって車内温度が上昇すると製品で正常な映像録画ができない可能性があります。
- 製品が低電圧遮断に対応しても車両を長期間駐車すると暗電流によって放電が発生する可能性があります。

製品設置

- 製品設置の時は本体とGPSモジュールが20cm以上離れるように設置してください。(GPSの受信感度が低い場合は、受信感度の高い場所に設置直してご使用ください。)
- 製品とGPSモジュールの距離が近くなると受信感度が落ちる原因になる可能性がありますので、20cm以上離して設置してください。

警告(製品起動に関する詳細説明)

- 透過率が低すぎるスモークガラスフィルムでは映像の画質が落ちる可能性があります。
- 必ず弊社提供の正規品のアクセサリをご使用ください。
- 運転中の視界を妨げない場所に製品を設置してください。
- 製品はしっかりと固定して設置してください。

注意(製品機能の非動作や身体傷害の防止)

- 本製品を任意で分解したり修理・改造を行ったりしないでください。故障の原因になり得ますので、点検・修理はお買い上げの販売店またはお客様センターにご依頼ください。任意で分解したり修理・改造を行った場合はリペアサービスの対象とならない可能性があります。
- 製品への水・ベンゼン・シンナーなどの物質は禁止されています。製品の故障及び表面変質などの原因になる可能性があります。
- 運転中は操作しないでください。安全な場所に停車してから操作してください。

製品の構成

構成



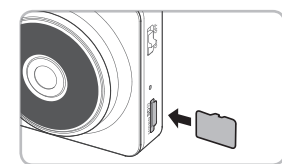
別売品



※ 本製品の構成品は製品の性能向上のために予告されず変更される可能性があります。
※ **駐車モードは常時電源ケーブルの取り付け上、ご利用できます。**

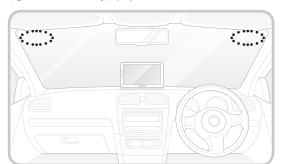
Micro SDカードの方向及びGPSの取り付け場所

Micro SDカードを下記のイメージと同じく投入してください。



GPSの取り付け場所を選ぶ

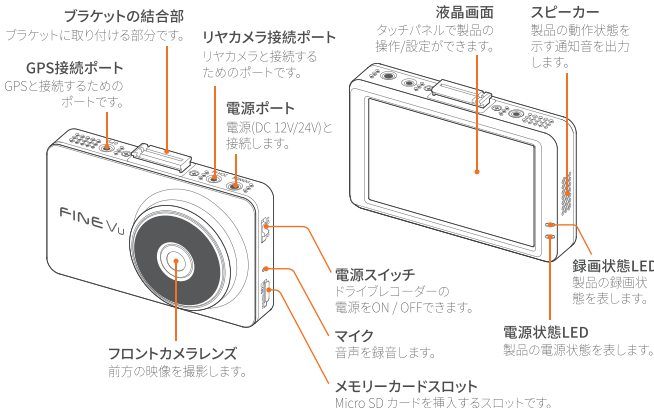
車内センサーモジュールから離れて車両のフロントガラスの上部両端に取り付けることを推奨します。



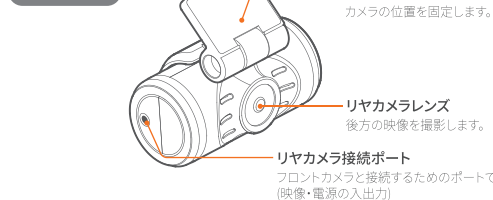
- 必ずFineVu正規品のメモリーカードをご使用ください。正規品以外のメモリーカードをお使いの場合は互換性や正常動作を保証できません。
- Micro SDカードの方向にご注意ください。Micro SDカードを間違った方向で挿入すると製品のメモリーカードスロットやMicro SDカードが損傷する可能性があります。
- 大切な録画映像は定期的に別途の記憶装置に保存してください。

各部の名称

フロントカメラ



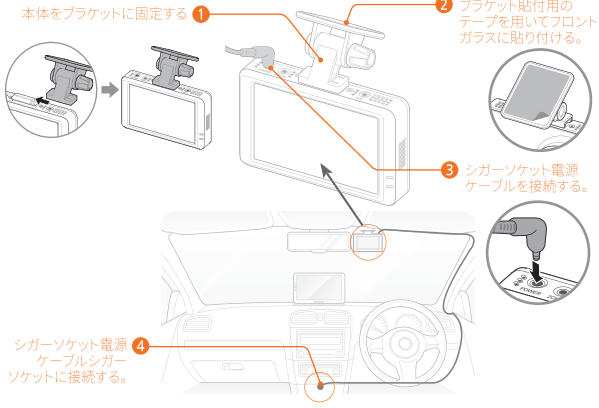
リヤカメラ



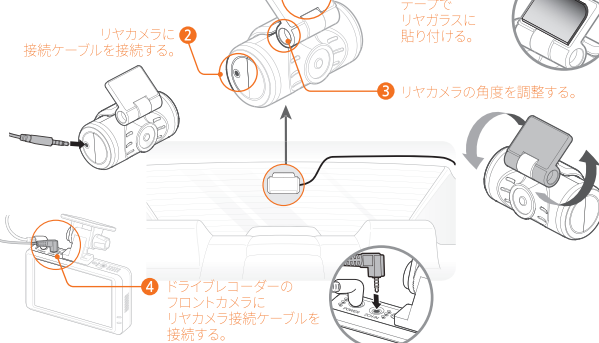
- リヤカメラ接続ポートにリヤケーブル以外のケーブルを接続すると破損の原因になる可能性があります。

製品設置

フロントカメラ



リヤカメラ



製品の主な特徴

- FULL HD 29fps** 高解像度の映像録画
高性能のカメラセンサーと高品質のレンズを採用したことで前方と後方をFull HD(1920x1080p@29fps)で録画することができます。
- 高解像度 IPSパネル/LCD** 3.5型・高解像度のIPS方式のLCDパネルを採用
通常のTN方式LCD/パネルと比べて2.5倍増加したピクセル数でキレイな映像と視野角を表現します。800x480の解像度で従来(480x320)より鮮やかな画面を提供します。
- Auto Night Vision** オートナイトモードを搭載
照度の低い場所や夜間撮影時、標準モードの映像よりも画質の変化を最小化して明るく録画することができます。(FineVuの独自の映像技術を採用することで夜間走行や夜間駐車時でも優れた識別性能で撮影することができます。)
- Smart Time Lapse** 走行・駐車時のタイムラプス録画
走行・駐車モードでタイムラプスを設定し、録画した早送り映像を確認することができます。(走行・駐車モードで衝撃などが発生した場合は標準30fpsで録画します。)
- 運転支援システム& Safe driving** 運転支援システムの搭載
先行車発進通知/車線逸脱警告/機能に対応します。動作するにはGPS情報を受信する必要があります。
- My Folder** 大切な映像をバックアップ
必要な映像は別途保存し、自動削除されることを防ぎます。
- Secret Mode** プライバシー保護モード
センシティブ情報が録画された映像は自分しか知らない暗証番号で保護します。
- Adaptive LCD Mode** LCD画面の明るさを自動調整
時間設定やGPS受信で日の出、日の入り時間に合わせてLCD画面の明るさを自動調整し、運転者の視界を妨げないようにします。
- Event Notice** 駐車時のイベントをお知らせ
駐車中に発生した衝撃などイベントの数を記録して駐車モードから走行モードに切り替えた時に教えてくれます。確認したらすぐ再生モードに入ります。(但し、シークレットモードではポップアップのみ終了)

- 安全走行のために、走行中にLCDがOffとなっている状態(LCDが1分後にOffする設定)でも衝撃などイベントや運転支援システム通知が発生すると一時的にLCDが3秒間ONになり、動作状況を教えてくれます。

FineVuドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。

本書では、ドライブレコーダー(LX2000)の取り扱い方法をご案内しています。重要な注意事項や、製品保証についても記載されており、製品をご利用になる前に必ずご一読ください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

- 製品の仕様について**
 - 製品の仕様や本書の内容は、性能改良のため、事前の通告なしに変更されることがあります。そのため、お買い上げの時期によっては、同一製品であっても多少の差異が生じる場合がございます。
 - データが記録されなかったり、破損している場合など、本製品を使用しただけで生じたいかなる損害についても、弊社では一切の責任を負いません。
 - LX2000の最新情報やファームウェアは、株式会社ファインデジタル(Finedigital)のホームページ(www.fine-gps.com)で確認することができます。
- 著作権と商標**
 - 著作権法で許可されている場合を除き、本書のいかなる部分も、株式会社Finedigitalによる事前の書面許可なしに複製・コピー・翻訳することはできません。
 - FineVuは株式会社Finedigitalの商標であり、株式会社Finedigitalによる許可なしに使用することはできません。
 - 記載されている各会社名及び各商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 保証**
 - 本製品は、KC規格の制限事項に準拠しています。
 - この制限事項は、商業地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を抑制するために制定されたものです。
 - 本製品は無線周波数エネルギーを生成していません。また、無線周波数エネルギーを放射する可能性があるため、本書に記述した設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

- FCC宣言**

本機はFCC Part15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従って行われます。
(1) このデバイスが有害な干渉の原因とはなりません。
(2) このデバイスは望ましくない動作の原因となる可能性のある干渉を含む受信したあらゆる干渉に耐えられなくてはなりません。
この装置は、FCC Part 15に準拠するClass Bデジタルデバイスの制限に従うことがテストにより確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対する合理的な保護を提供するために設計されています。この装置は無線周波数エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。説明書の通りに設置または使用しない場合、無線通信への有害な干渉の原因となることがあります。ただし、特定の設置により干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオまたはテレビへの有害な干渉の原因となっているかどうかは、本装置のオン/オフを切り替えることで判断できます。ユーザーが以下の一つまたは複数の手段を講じて干渉を補正することが推奨されます。
● 受信アンテナの向きを変えるか、または移動する。
● 本装置と受信機の距離を大きくする。
● 本装置を受信機が接続されている電気回路とは別系統の電気回路のコンセントに接続する。
● 販売業者または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。
本器のアナログ受信機に設置した1色のアンテナや送信機と組み合わせて使用したりしないでください。
● 本機の高周波のばく露量を減らすために、アンテナとの間は20cm以上離してください。
FCC警告: 本装置を法令等での責任を負う当事者の明示の許可なく変更または改造した場合、当用による本装置の使用許可が無効になることがあります。
FCC ID: PWS-FINEVULX2000

製品保証書

| | | | |
|------|------------------------------|------------------|------------------|
| 機種名 | FineVu LX2000 | 型番 | LX2000 |
| 保証期間 | お買い上げより1年 | お買い上げ日 | 年 月 日 |
| お客様 | お名前 ご住所 お電話番号 電子メール | - - - @ | - - - @ |

お客様へ
本保証書は、保証規定に基づき製品に対し保証するものです。お客様ご自身による誤り、不注意、または不可抗力による損害は保証されません。また、お客様の都合による返品・交換は保証されません。保証期間中に発生した故障は、お客様のご都合によるものではありません。保証期間中に発生した故障は、お客様のご都合によるものではありません。保証期間中に発生した故障は、お客様のご都合によるものではありません。

販売店へ
お客様へのお渡しの時、販売店にご記入もしくは押印ください。

FINE VU www.FineVu.com サポートセンター: support@finedigital.com

製品仕様及び規格

| 項目 | 規格 | 備考 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| モデル名 | LX2000 | |
| サイズ/重量 | 前方 98.5 x 60.9 x 31.0mm / 96g 後方 53.4 x 29 x 42.3mm / 30g | ケーブル、ホルダーを除いた重量 リアカメラはホルダーを含む重量 |
| 対応容量 | Micro SDカード | 16GB / 32GB / 64GB Class 10以上、SDXC対応 |
| 録画方式 | 常時録画 | 1分単位録画 |
| | イベント録画 | 20秒(前5秒間/後ろ15秒間) |
| | 手動録画 | 20秒(前5秒間/後ろ15秒間) |
| | 駐車録画(イベントやモーション検知時に録画) | 20秒(前5秒間/後ろ15秒間) |
| | 走行タイムラプス録画 | 衝撃発生時、標準30fpsで録画 |
| 駐車タイムラプス録画 | 衝撃発生時、標準30fpsで録画 | |
| レンズ | Full HD級の広角レンズ | |
| イメージセンサー | 前/後方: 2M pixels CMOS Image Sensor | |
| 画角 | 前方 155度 / 後方 140度 | |
| ビデオ | 前方: Full HD 1920x1080@29fps 後方: Full HD 1920x1080@29fps | |
| ディスプレイ | 3.5" IPS LCD (800 x 480) with Touch | |
| 音声 | 内蔵マイク | |
| スピーカー | 内蔵スピーカー | 8 ohm |
| 加速度センサー | 3軸加速度センサー | +2g / -2g |
| 入力電源 | DC 12V - 24V | |
| バッテリー | スーパーキャパシタ | 外部遮断時、動画を安全保存する電源供給 |
| 消費電力 | 3.5W | 2ch基準、LCD Off、GPS Off |
| 動作/保管温度 | 動作温度 -10°C ~ 60°C / 保管温度 -20°C ~ 70°C | |
| インターフェース | 電源ポート(3.5φ)、リアカメラポート(2.5φ)、外付けGPSポート(2.5φ) | |
| 対応機能 | オートナイトモード、スマートタイムラプス(走行/駐車)、前車発進通知、車線逸脱警告、フォーマットフリー、シークレットモード、電源On/Off、高感度遮断、低電圧遮断、タイマー遮断、Safety screen、LCD明るさの自動調整、メモリーカードごとの変更 | 運転支援システム機能が動作するにはGPSに接続(受信)する必要があります |
| 認証番号 | KC (R-R-FDK-FineR016)、FCC (PWS-FINEVULX2000) モデル名: LX2000 製造業者: ㈱Finedigital 製造年月: 別途表記 認証番号: ㈱Finedigital 名称: 車載型映像録画装置 製造国: 大韓民国 | |

操作する



- | | |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 カメラ設定 | ナイトビジョン(オートナイトビジョン)、映像品質(超画質/高画質)、後方接続通知音を設定します。 |
| 2 運転支援システム | 車線逸脱警報、先行車発進通知、運転支援システムスピーカーを設定します。 |
| 3 メモリー管理 | メモリー割り当て(常時録画を優先/イベント録画を優先/動作検知(駐車中)を優先/駐車モードを使用しない)、メモリーをフォーマットします。 |
| 4 録画設定 | 走行録画設定(常時録画/タイムラプス)、感度設定(走行/駐車/モーション)、駐車録画使用設定、駐車録画設定(モーション/タイムラプス)、リヤカメラ設定、低電圧設定、通断時間を設定します。 |
| 5 再生モード | モード別に録画された映像を再生します。 |
| 6 システム設定 | LCD表示、LCD明るさ、メニュー表示、時間設定、シークレットモードを設定します。 |
| 7 設定情報 | ユーザーが設定した情報を表示します。 |
| 8 LIVE | 録画画面に切り替えます。 |
| 9 Safety screen | 車の速度、時間、日付などを表示します。 |

- ・運転支援システム機能が動作するにはGPSに接続(受信)する必要があります。
- ・製品を操作・設定する場合は安全な場所に停車してから行ってください。
- ・メニュー設定中は録画機能が停止しますので、ご注意ください。
- ・設定情報で基本設定値に初期化する時、メモリーと関係あるメニュー変更がある場合はMicro SDカードがフォーマットされます。
- ・前車出発通知機能は前車が出発して3秒内に通知が表示されます。



運転支援システム通知及び案内機能の精度を高めるために[メニュー]→運転支援システム→運転支援システムの調節)を起動し、画面上で緑色の線を地平線に合わせます。また左・右の矢印で赤色の垂直線が中央にくるように調整します。続いて上・下の矢印で柑子色の線がボンネットの端にくるように調整し、ライブボタンを押して録画に切り替えます。



| 区分 | 走行 | 走行衝撃 | 駐車モーション | 駐車衝撃 | 緊急録画 | Total |
|--------------|----|------|---------|------|------|-------|
| 常時録画を優先 | 60 | 15 | 15 | 5 | 5 | 100 |
| イベント録画を優先 | 40 | 20 | 25 | 10 | 5 | 100 |
| 動作検知(駐車中)を優先 | 35 | 10 | 45 | 5 | 5 | 100 |
| 駐車モードを使用しない | 80 | 15 | 0 | 0 | 5 | 100 |

- ・メモリーの割り当てを変更するとMicro SDカードがフォーマットされます。
- ・メモリーの割り当てを変更する前に必ず大切な映像をバックアップしてから変更してください。
- ・メニュー設定中は録画機能が停止しますので、ご注意ください。
- ・メモリーのフォーマット形式はFAT32であり、フォーマットの形式が異なる場合はドライブレコーダーで自動的にフォーマットが行われます。(フォーマット後、端末側に挿入し、電源を入れるとメモリー設定のためにフォーマットが行われます。)
- ・メモリー割り当てを走行専用に変更すると、走行時のみ録画するようになり、駐車モードに入りません。エンジンを切るとドライブレコーダーの電源もOFFとなります。

| 走行中録画 | 内容 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 走行録画 | 起動すると走行録画モードに切り替わります。録画映像は1分単位でメモリーカード内の常時フォルダに保存されます。 |
| 衝撃検知録画 | 常時録画モードで衝撃が検知されると衝撃検知録画モード(イベント)に切り替わります。衝撃が発生した時点の前後20秒間(前5秒間/後15秒間)の映像がメモリーカード内のイベントフォルダに保存されます。 |
| 手動録画 | LCD画面から緊急録画ボタンを押すと、ボタンが赤になり、手動録画モードに切り替わります。ボタンを押した時点の前後20秒間(前5秒間/後15秒間)の映像がメモリーカード内の手動フォルダに保存されます。 |
| 走行タイムラプス録画 | [メニュー]→録画設定→常時録画]でタイムラプス録画に設定します。常時録画での録画映像はメモリーカード内の常時フォルダに保存されます。(音声は録音されません) |
| 走行タイムラプス中の衝撃検知録画 | 走行タイムラプス録画中に衝撃が検知されると、衝撃検知録画に切り替わります。衝撃が発生した時点の前後20秒間(前5秒間/後15秒間)の映像がメモリーカード内のイベントフォルダに保存されます。タイムラプス中の衝撃検知録画は29fpsで自動録画・保存されます。 |

| 駐車中録画 | 内容 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 駐車切替 | 常時電源が接続されている状態で車のエンジンを切ると5秒後に駐車録画に切り替わります。またエンジンをかけると走行録画に切り替わります。 |
| 衝撃検知録画 | 駐車中に衝撃が検知されると録画が開始され、衝撃が発生した時点の前後20秒間(前5秒間/後15秒間)の映像がメモリーカード内のイベント(駐車)フォルダに保存されます。 |
| モーション検知録画 | 駐車中にモーションが検知されると録画が開始され、モーションが検知された時点の前後20秒間(前5秒間/後15秒間)の映像がメモリーカード内のモーション(駐車)フォルダに保存されます。 |
| 駐車タイムラプス録画 | [メニュー]→録画設定→駐車録画設定→録画方式]でタイムラプス録画に設定します。駐車録画での録画映像はメモリーカード内のモーション(駐車)フォルダに保存されます。 *モーションの検知とは関係なくタイムラプスで常時録画(音声は録音されません) |
| 駐車タイムラプス中の衝撃検知録画 | 駐車タイムラプス録画中に衝撃が検知されると、衝撃検知録画に切り替わります。衝撃が発生した時点の前後20秒間(前5秒間/後15秒間)の映像がメモリーカード内のイベントフォルダに保存されます。タイムラプス中の衝撃検知録画は29fpsで自動録画・保存されます。 |

- ・駐車録画を利用するには常時電源が必要となります。一部の車種を除いては常時電源を別途連結する必要がありますので、設置専門家にご相談ください。(車の放電を防ぐために常時電源を連結することを推奨します。)
- ・必ずFineVu正規品の電源ケーブルをご使用ください。他社製品をお使いになる場合、電圧差によって製品が損傷したり火災や感電事故が発生する可能性があります。
- ・常時電源ケーブルを連結する時は各配線の接続位置にご確認ください。配線の位置を間違えて接続すると製品または車に損傷する可能性があります。
- ・駐車中は衝撃検知及びモーション検知による映像のみ録画されます。(タイムラプス別途設定)
- ・同梱品の常時ケーブルを任意で切断・改造しないでください。

| 録画区分 | 走行録画(走行タイムラプス) | 走行衝撃 | 駐車衝撃 | 駐車モーション(駐車タイムラプス) | 手動録画 | マイフォルダ |
|-------|----------------|------|----------|-------------------|------|--------|
| フォルダ名 | 常時 | イベント | イベント(駐車) | モーション(駐車) | 手動 | フォルダ |



- | | |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 録画映像種類 | 常時、イベント、イベント(駐車)、モーション(駐車)、手動、マイフォルダ(フォルダ表示/映像保存)に構成されていますので該当する映像を簡単に検索することができます。 |
| 2 録画一覧 | 最終録画映像から順番に表示されます。 |
| 3 一覧ボタン | ◀◀ :3つ前へ ◀ :1つ前へ ▶ :1つ後ろへ ▶▶ :3つ後ろへ |
| 4 再生画面 | 選択した映像を再生します。(画面をタッチして機能ボタンを隠したり表示することができます。) |
| 5 カメラ変更 | 1ch: 前方録画映像を再生します。 2ch: 後方録画映像を再生します。 |
| 6 再生ボタン | ◀▶ : 前の映像を再生 ⏮ : 再生映像5秒送り ⏸ : 一時停止/再生 |
| 7 前のメニューへ | 前のメニューに戻ります。 |

- ・車を安全な場所に停車してから再生操作を行ってください。
- ・再生モード中は録画が停止となりますのでご注意ください。
- ・録画映像は製品の再生モードまたはPCで確認してください。スマートフォンやタブレットなどの端末にメモリーカードを直接挿入し、録画映像を再生する場合は録画ファイルが失われる可能性があります。(注意)
- ・車の相対速度や道路の照明など環境によっては自前ナンバーが識別できない場合があります。
- ・ファイル名は録画開始日、時間、録画モードによって生成されます。
- ・録画中にメモリーカードの容量を超えた場合、古い映像から順番的に削除します。(映像削除を防ぐためには大切な映像を別途保存してください。)

FineVuプレイヤーのインストール及び使い方

FineVuプレイヤーはFineVuドライブレコーダーで録画した映像を再生できるソフトウェアです。FineVuサイトからFineVuプレイヤーをダウンロードしインストールしてください。
* 製品のお買い上げ時のSDメモリーカードにもFineVuプレイヤーが入っていますのでPCにコピーしてインストールしてください。

- 1 FineVuサイト(www.fine-gps.com)の「お客様サポート」▶「FINEVu Player」からFineVuプレイヤーをダウンロードしてください。
- 2 ダウンロードしたファイルは圧縮ファイル(ZIP)になっていますので解凍して[setup.exe]をダブルクリックし、起動してください。
- 3 インストール画面が表示されますので、使用許諾契約に同意した上、インストールしてください。
アイコンをダブルクリックするとFineVu Player 2.0がスタートします。

メイン画面

インストールが終了したFineVuプレイヤーを起動すると次のような画面が表示されます。



- 1 録画映像が再生されるメイン画面です。
- 2 録画映像にGPS情報が含まれている場合に表示される画面です。
- 3 録画映像一覧を表示するリスト画面です。
- 4 録画映像を再生・調整できるコントロールバーです。
- 5 ドライブレコーダーに振動や衝撃が加わった場合、G-Sensor値を表示する画面です。

FineVuプレイヤーのPC推奨環境

| | 最小仕様 | 推奨仕様 |
|---------|--------------------------------------------------------------------|------------------------|
| OS | Windows 7以上 | Windows 10, 64bit OS |
| HDD | 70MB以上 | 150MB |
| CPU | Intel Dual Core 3.4GHz以上(32bit) Intel Dual Core 2.8GHz以上(64bit) | Intel Dual Core 3.4GHz |
| VGA | 256MB以上 | 1GB |
| RAM | 2GB以上 | 4GB |
| DirectX | DirectX 11以上 | DirectX 12 |
| RAM | 1280 x 1024以上 | 1920 x 1080 |

PCから録画映像を確認

1. 製品からMicro SDカードを取り出してアダプタに挿入し、リーダーを用いてPCと接続します。
2. PCと接続成功するとUSBドライブまたは新規ディスクドライブが生成されます。
3. それぞれ該当するフォルダをクリックし、保存済みの映像ファイルを再生したり視聴することができます。
4. 録画映像はPC用ビューアのFineVuプレイヤーもしくは商用のプレイヤーで再生することができます。(録画映像のGPS情報、G-Sensor情報を確認するためには専用プレイヤーのFineVuプレイヤーをご利用ください。)

ファームウェアの更新

1. ホームページから最新ファームウェアをダウンロードします。
2. 製品からMicro SDカードを取り出してアダプタに挿入し、リーダーを用いてPCと接続します。PCと接続成功するとUSBドライブまたは新規ディスクドライブが生成されます。(ファームウェアを更新する前にMicro SDカードをフォーマットすることを推奨します。)
3. ダウンロードしたファームウェアを解凍してMicro SDカードの最上層にコピーします。
4. コピー済みのMicro SDカードを製品に挿入し、車の電源を入れるか(ACC On)、エンジンをかけて製品の電源をオンします。
5. ファームウェアの更新が自動開始します。
6. ファームウェアの更新が正常完了すると製品が自動的に再起動します。

お役立ちのMicro SDカードの管理方法

1. 最新ファームウェアに更新する 常にファームウェアを最新バージョンに更新しているとシステムが安定し、ドライブレコーダーのエラーを最小化にすることができます。
2. 定期的に録画映像を確認する 時間経過によって録画映像が削除されることがありますので、定期的に録画映像を確認し、大切な映像は必ずバックアップしてください。
3. メモリーカードの保証 メモリーカードは録画の繰り返しによって使用期限が限られている消耗品なので定期的な点検や交換が必要になります。
- メモリーカードの無償保証期間は6か月であり、保証期間経過後に発生したメモリーカードの不良に関してはお客様の有償購入となります。
- メモリーカードは2週1回で定期的にフォーマットすることを推奨します。

- ・ファームウェアの更新中に製品の電源をオフしたりMicro SDカードを外したりすると製品故障や保存した映像が損傷する可能性があります。
- ・ファームウェアの更新はMicro SDカードで行ってください。
- ・更新が完了するとファームウェアファイルは自動的に削除されます。
- ・更新する前にMicro SDカード内の大切な映像はバックアップしてからフォーマットすることを推奨します。
- ・64GB以上のファイルは形式をFAT32に変更してフォーマットしてください。